

# 施工説明書 サニセーフⅡ

## 折戸Sタイプ

### リフォーム枠 四方アタッチメント工法用

'13-11 月 発行 1 ページ



このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

#### 施工の前に…

商品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

#### お願い

- 商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水は、家屋や家財を傷める原因になります。
- 取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。調整不良は操作不良や異常音の原因になります。

**注意**

「電動ドライバー使用禁止マーク」で表示している箇所のねじ止めは必ず手締めで行ってください。電動ドライバーを使用すると、部品を变形させたり、ねじ頭をつぶすおそれがあります。

**シーリングは必ず実施してください!**

「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。シーリングがされないこと、漏水の原因となったり、家屋や家財を傷めるなど重大事故につながるおそれがあります。

#### チェックシート

取付時、本文中に表示している「チェックマーク」の確認をしてください。

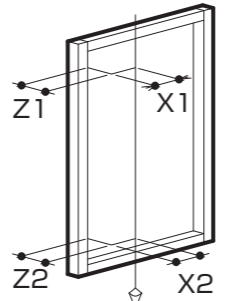
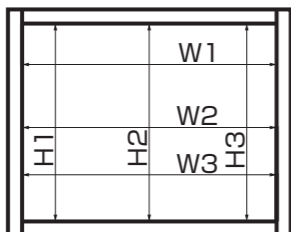
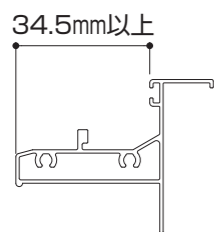
項目	チェック欄
① 開口部の確認を行いましたか?	
② 枠のねじれ・対角ずれ・ハラミ・つづみのないことを確認しましたか?	
③ 枠の本固定にシーリングを併用しましたか?	
④ 枠まわりのシーリングをしましたか?	
⑤ 上下の戸車を正しくセットしましたか?	
⑥ 障子吊込み後、開閉操作の確認を行いましたか?	
⑦ 調整後、ねじをしっかりと締めましたか?	

## 1. 既設枠開口部の確認

■ 見込寸法が34.5mm以上であることを確認してください。

■ H1~H3およびW1~W3の寸法差が5mm未満であることを確認してください。

■ 枠の垂直度(前後・左右)が以下であることを確認してください。



$$-6 \leq (X1 - X2) \leq 6$$

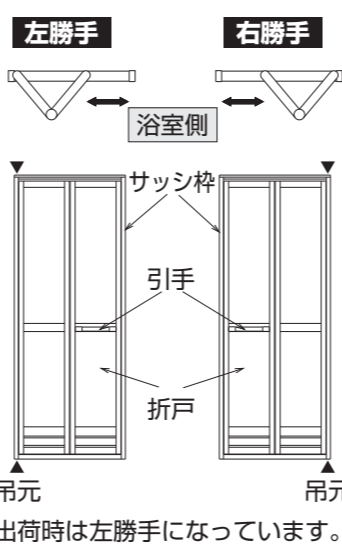
$$-1 \leq (Z1 - Z2) \leq 1 \text{ (推奨)}$$



**注意**

上記のいずれかが不適合の場合、**施工できません。**

## 商品構成図



## 部材・同梱部品一覧

部材名	上枠アタッチメント	下枠アタッチメント	たて枠アタッチメント
個数	1	1	2
備考	AT材付	AT材付	AT材付

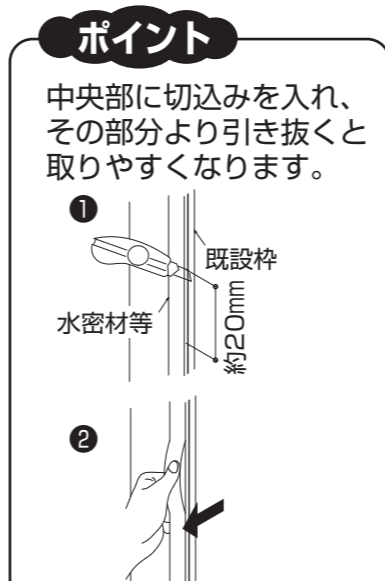
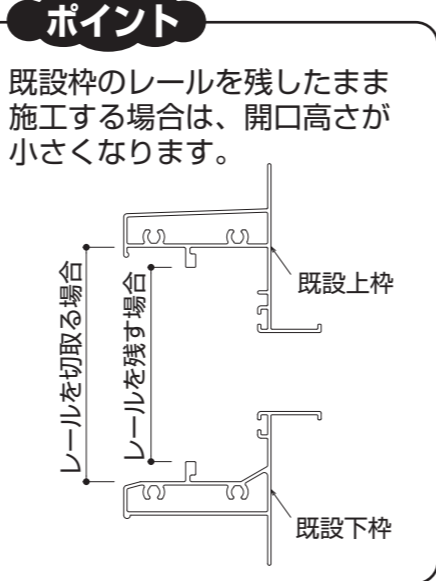
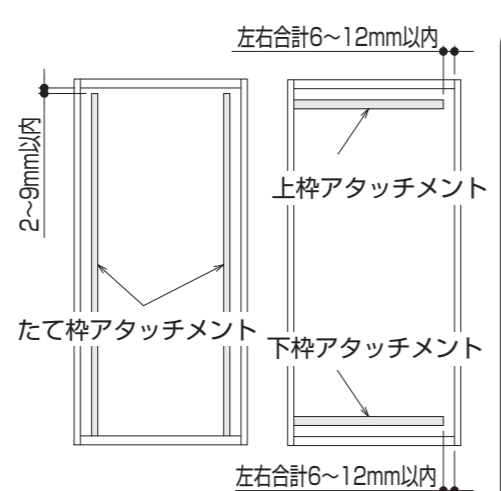
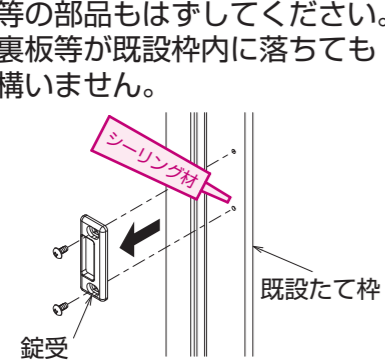
番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
品名	皿タッピンねじ (φ4×16)	スペーサ	スペーサ	スペーサ	スペーサ	スペーサ	バックアップ材
品番	EF-4016D7	K-29131	K-26021	K-28949	K-22228	K-25831	K-25831
個数	16	6	6	18	6	6	1
備考		t=1mm	t=2mm	t=4mm	t=7mm		φ8×8m

番号	④	⑤	⑥	⑦
品名	中ラスタッピンねじ (φ4×20)	引手裏板	引手ホルダ	引手
個数	2	2	2	1
備考	引手取付用			

## 2. 既設障子の取りはずし

- 既設障子をはずしてください。錠受、丁番、アームストッパー等の部品もはずしてください。裏板等が既設枠内に落ちて構いません。
- 既設枠にアタッチメントを当てて寸法確認をしてください。
- 既設枠の水密材等をはずしてください。
- 既設枠を中性洗剤にて掃除してください。



**シーリング**

部品を取りはずした際、ねじ穴にはシーリング材を充て込んでください。

**ポイント**

既設枠のレールを残したまま施工する場合は、開口高さが小さくなります。

**ポイント**

中央部に切込みを入れ、その部分より引き抜くと取りやすくなります。

**お願い**

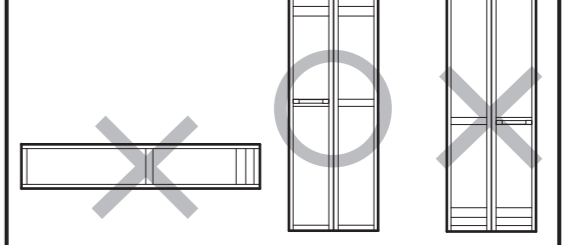
- 掃除が不十分な場合、漏水のおそれがありますので汚れのないようにしてください。
- 傷や割れのおそれがありますので、樹脂部はエタノールで拭かないでください。

**ポイント**

アルミ部は、万能クリーナーまたは、エタノールをウエス等に含ませて拭くときれいになります。

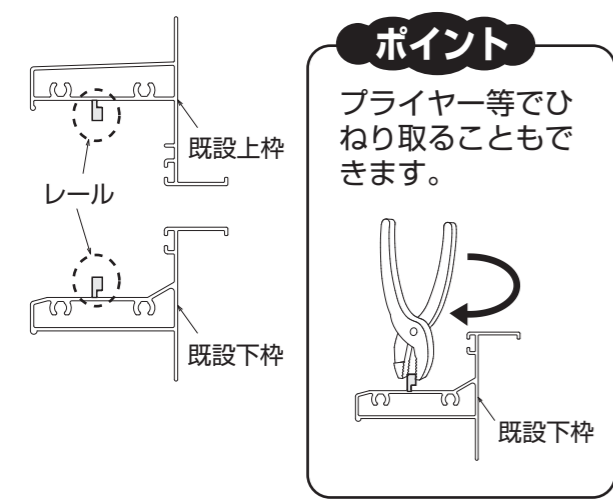
#### お願い

障子の周りにはゴムが付いています。ゴムの損傷防止のため、障子本体は逆さ(ガラリを上)にしてたて置きしてください。



## 3. 既設枠レールの切取

ディスクグラインダー等を使い、上下枠のレールを切取ってください。レールを残したまま施工の場合は切取り不要です。

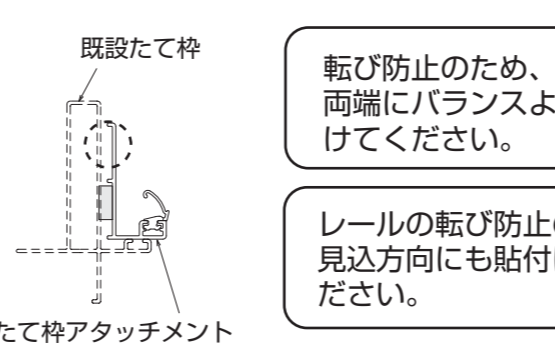
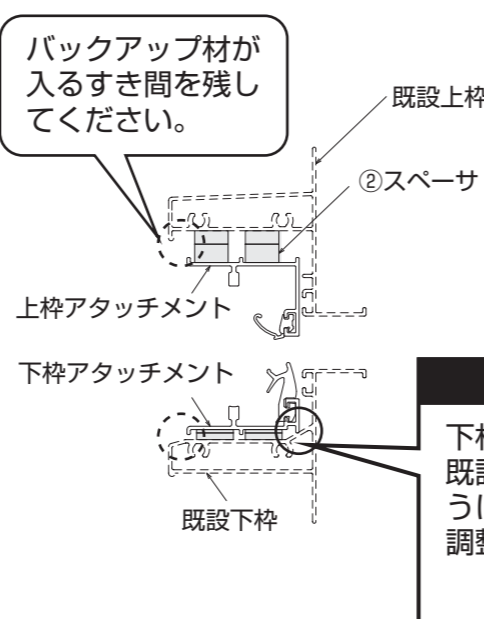


**ポイント**

プライヤー等でひねり取ることもできます。

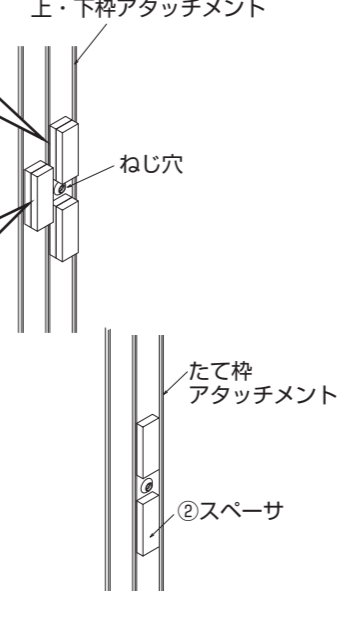
## 4. スペーサの取付

既設枠の状態に合わせて、下枠基準でアタッチメントにスペーサを貼付けてください。必要に応じて、はさみ等でスペーサを切断してください。



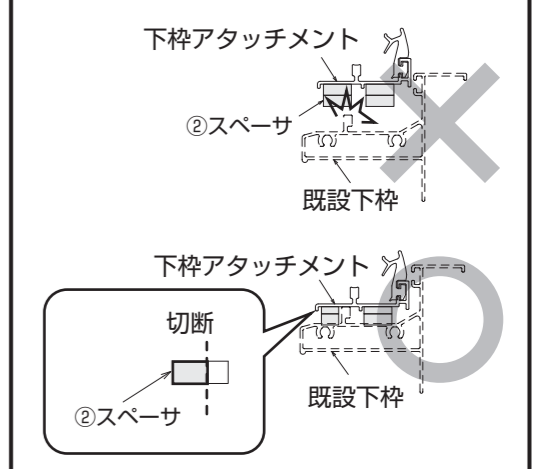
**お願い**

下枠アタッチメントが既設下枠に着座するようにスペーサ高さを調整してください。



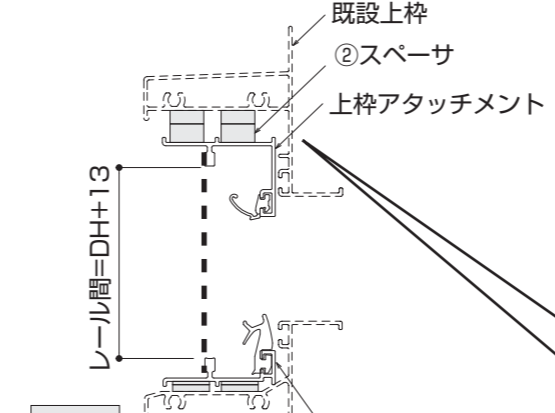
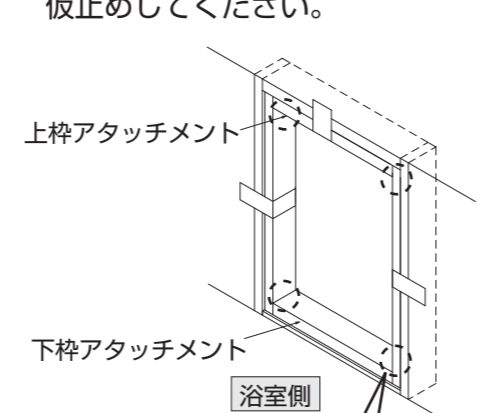
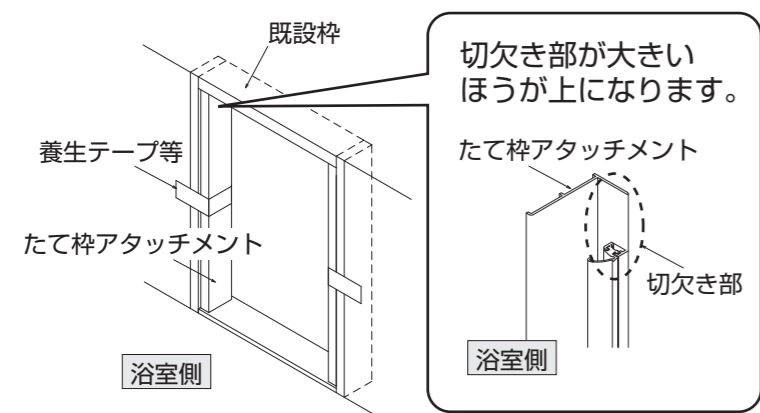
#### お願い

施工不良の原因となりますので、既設枠のレールと干渉する場合は、スペーサを切断するなどして調整してください。



## 5. アタッチメントの仮止め

- たて枠アタッチメントを仮止めしてください。
- 上・下枠アタッチメントを仮止めしてください。
- アタッチメント間の寸法、位置を確認、調整をしてください。

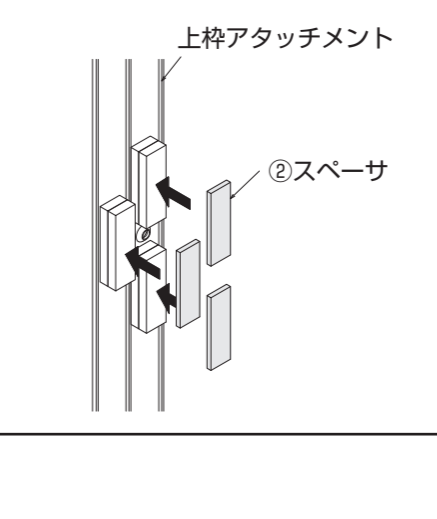


**お願い**

上下レールが同位置になるように調整してください。

**規定寸法を超える場合**

上・たて枠アタッチメントを一旦はずし、必要箇所にスペーサを追加してください。



**注意**

- 荷重を受ける箇所のため、下枠アタッチメントにスペーサを追加しないでください。
- 上・下枠アタッチメントのレール間寸法を必ず確認してください。レール間=DH+13(±2)を超える場合、障子脱落のおそれがあります。

**お願い**

垂直度(前後・左右)・対角寸法差は、±1mm以内としてください。枠のねじれ・ハラミ・つづみのないように注意してください。

■ 垂直度の確認    ■ 対角寸法の確認    ■ ハラミ・つづみの確認

$-1 \leq (A-a) \leq +1$   
 $-1 \leq (B-b) \leq +1$

$-2 \leq (C-D) \leq +2$

$E=F=G$



## 6. アタッチメント材の本固定

① 全てのアタッチメントを一旦取りはずし、既設枠に下穴(φ3~3.4)をあけてください。

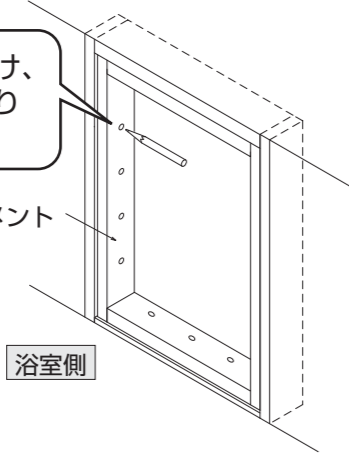
② たて枠アタッチメントを固定してください。

③ 既設下枠にシーリングしてください。  
④ 上・下枠アタッチメントを固定してください。

⑤ 枠のねじれ・対角ずれ・ハラミ・つづみのないことを確認してください。

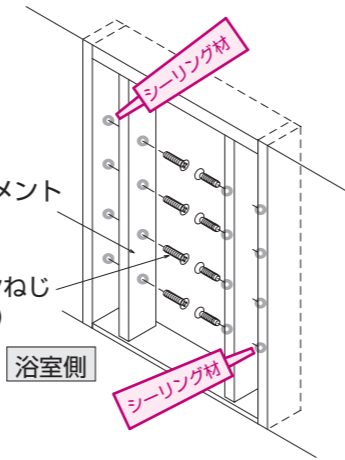
穴加工位置に印を付け、アタッチメントを取りはずしてください。

たて枠アタッチメント



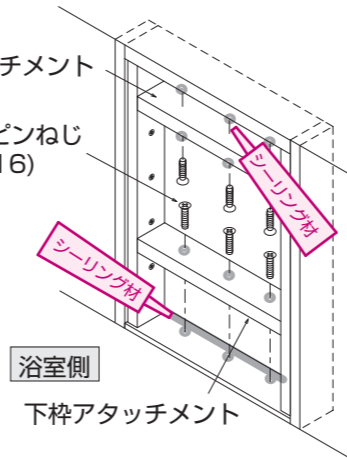
たて枠アタッチメント

① 皿タッピンねじ (φ4×16)



上枠アタッチメント

① 皿タッピンねじ (φ4×16)



浴室側

下枠アタッチメント

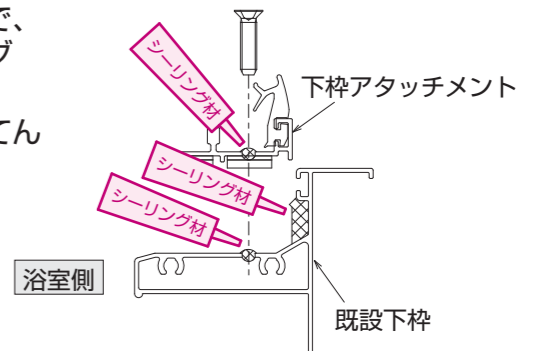
### お願い

上下左右のアタッチメント間および下左右のAT材間にすき間がないことを確認してください。



### シーリング

- 水漏れの原因となりますので、必ず、既設下枠にシーリング作業をしてください。
- ねじ穴にシーリング材を充てんしてください。



- 枠の見付部本固定には必ずシーリングを併用してねじ止めてください。ねじ止め後、はみ出したシーリング材はきれいに拭き取ってください。

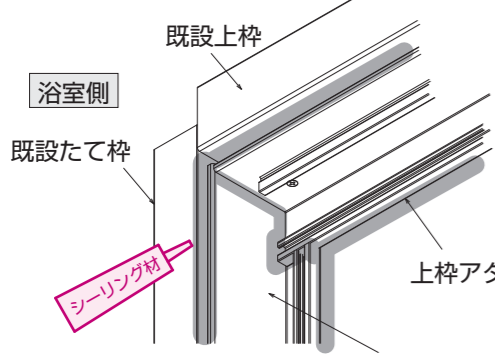


### お願い

- アタッチメントのAT材が傷付くおそれがありますのでアタッチメントを一旦取りはずしてから下穴加工してください。

- 既設枠との取合いにより、同梱部品のねじ長さが合わない場合やスペーサが不足する場合は、別途手配してください。

⑥ 既設枠とアタッチメントのすき間が大きい箇所にはバックアップ材を入れ、シーリングしてください。アタッチメントと同系色のシーリング材を使用してください。



チェック④

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

浴室側

脱衣室側

## 7. 吊元の交換(右勝手の場合のみ)

上枠に取付いているストッパーを引き抜き、反対側の切欠きにはめ込んでください。

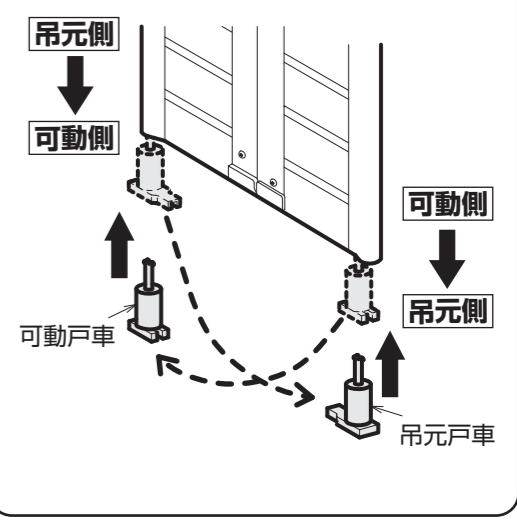
### ポイント

ストッパーの先端を押しながら左右に振り、引き抜いてください。  
② 左右に振りながら引き抜く

### お願い

ストッパーは安全対策のため必ず取付けてください。

障子下部の戸車を引き抜き、吊元側と可動側の差替えを行ってください。



## 8. 引手の取付

引手を可動側の中棧に取付けてください。

左勝手

右勝手

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

引手取付位置

吊元

## 9. 障子の吊込み

### 注意

障子の吊込みは、上下の戸車を正しくセットしてください。障子脱落のおそれがあります。

① 吊元側の下戸車をレール端部切欠きにはめ込んでください。



② 摺動側の下戸車をレールにはめ込んでください。



### お願い

吊込み後に、必ず開閉操作の確認を行ってください。



③ 吊元側の上戸車をレール端部切欠きにはめ込んでください。



④ 障子を10°以下に開いた状態で、摺動側の上戸車をレールにはめ込んでください。

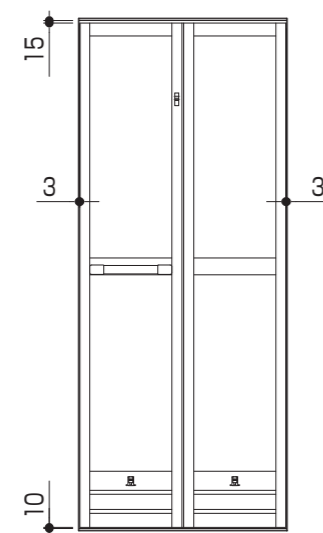


上戸車を90°回転させることにより、吊元側と摺動側の使い分けができます。

⑤ 障子の吊込み完了後、浴室側より上戸車の向きを確認してください。正しくセットされると、吊元側の上戸車 → ▼ マークが正面 摺動側の上戸車 → ➡ マークが正面

## 10. チリ確認

障子とアタッチメントのチリ確認をしてください。



### 注意

上・下枠アタッチメントのレール間寸法を再度確認してください。レール間=DH+13(±2)を超える場合、障子脱落のおそれがあります。

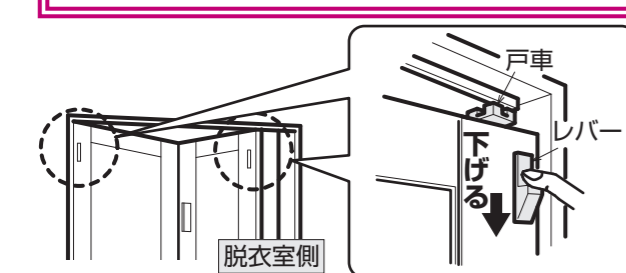


## 障子を取りはずす場合

① 脱衣室側より左右上部のレバーを下げ、戸車を枠からはずしてください。

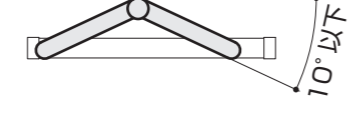
### 注意

戸車をはずすと障子が倒れてきますので、障子を支えながら行ってください。

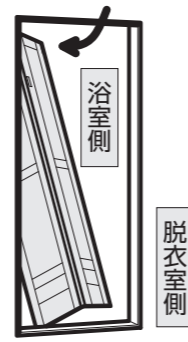


### ポイント

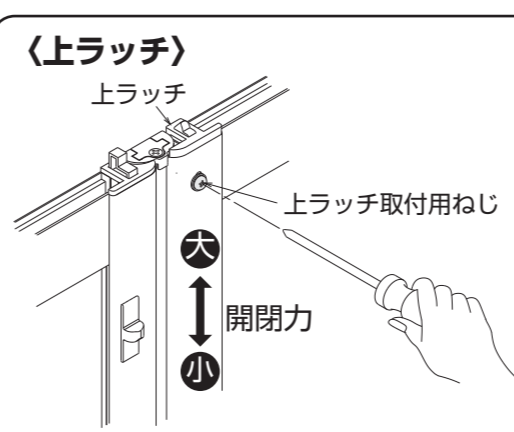
10°以下に開いた状態で行ってください。開きすぎると障子がせり上がり、取りはずしができません。



② 障子を持ちながら、浴室側へ倒してはずしてください。



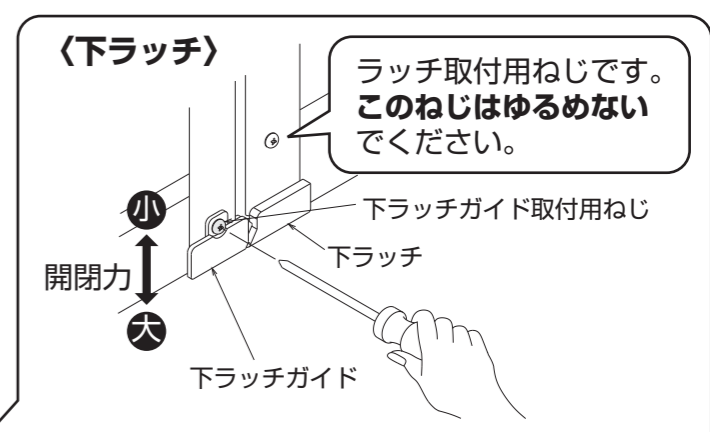
## 11. ラッチの調整



開閉が重い場合 → ねじ位置を長穴下部へ  
開閉が軽い場合 → ねじ位置を長穴上部へ

### ポイント

枠レールとのかかり代が大きすぎると開閉が重くなります。開閉が重い場合、再度調整してください。



開閉が重い場合 → ねじ位置を長穴上部へ  
開閉が軽い場合 → ねじ位置を長穴下部へ

### 注意

あくまでも補助的な調整です。施工のくるいをカバーするものではありません。

### お願い

調整後、再度ねじをしっかりと締めてください。



### お願い

約6時間後から入浴は可能ですが、約24時間経過するまでシーリング箇所に触れないよう施工主に注意を促してください。